宅老所物語

宅老所では日々新たな発見があります。

昨年末より急激に気温が下がり、外に出て仕事をする機会が少なくなってきました。し かしポカポカと暖かな室内ではお年寄りそれぞれの生活模様がしっかり表れております。 「朝の日課!」とハルキさん。あもりへ到着するとスタッフ達と今朝の新聞記事の内容 についてお話をします。常日頃から知識の習得を欠かさないハルキさんにはいつも記 事の詳細を教えていただき勉強になっております。

「洋裁が得意!」とチエコさんは頂いた浴衣を細かな端切れ布にするための下準備。 襟の縫い目を裁縫用のハサミで丁寧に切ってほどいていきます。とても根気のいる仕 事で、男性スタッフや若い女性スタッフでは集中力が続かず「もう駄目だ」と音をあげる のを尻目に黙々と作業を続けています。

隣の部屋ではハギノさんとヒロタカさんの「真剣勝負!」が繰り広げられております。ス タッフも勝負を申し込むのですがお二人とも強いため、全く歯が立ちません。「父ちゃん 強いなぁ!」とハギノさん。ヒロタカさんの腕前は宅老所で一番です。





みんなのあもり 今後の予定

2月3日(火) 節分

3月1日(日) ボランティアの集い

※写真の掲載に関しましては、ご家族の了承を頂いております。

宅老所 みんなのあもり

平成26年度 3号



ひとりの人を大切にしたまごころ介護 ひとりの人の可能性を信じるまごころ介護

◇NPO法人グループもみじ◇ 〒380-0941 長野県長野市葭ヶ淵1861

電話 026-227-4425 FAX 026-217-7764

グループもみじ





歳忘れ会 _{平成26年12月21日(日) 宅老所みんなのあもりにて}

年に一度のお歳とり。宅老所では21日に歳忘れ会と題し「みんなが顔を会わせ、お互いに 歳をとることを喜ぶ」を目的にお餅つきと 丸餅作りを行いました。

当日はご近所のボランティアさんやご家族を含め、40名を超えるたくさんの方々に集まっ ていただきました。誠にありがとうございました。

歳忘れ会は前日より準備を行い、ハルキさん、ヒサヨさん、チエコさんたちお年寄りに道具 の調達や食材買い出し、会場の清掃や設営をお手伝いしていただきました。

そんな宅老所のみんなで作り上げた、12月21日の「歳忘れ会」の様子をお伝えします。



~台所での下ごしらえ~

豚汁作りではヒサヨさんにお手伝いいただき、ごぼうの笹がきを手 慣れた手つきで行っていました。

近所のボランティアさんにも食事作りを協力していただき美味しい 豚汁とおかずが完成しました。

~餅つき~

もち米を蒸かし、臼にもち米が入るといよいよ開始。 様子を眺め ていたチエコさんが「ちょっと私、手ごねをやってくるわ」と外へ出て、 ハルキさんとともに息を合わせて餅つきをされました。

「それ、よいしょ!よいしょ!」。 餅をつく様子を見守るみんなから 自然と掛け声が生まれ、気持ちが一つになった瞬間でした。



~丸餅作り~

初めての丸餅作りということもあってか、皆さん悪戦苦闘。 そんな中でもヒサヨさんを筆頭にお年寄りは「手にとっついちゃ う」と話しながらも器用に、餅を丸めて次々出来上がります。

「お餅作りは女性の仕事。味見は男の仕事」と話しスタッフの 持ってきた丸餅を味見するハルキさん。スタッフも一緒に出来 たての丸餅を口に運びました。

完成した丸餅は形、大きさ、厚さなど様々。作った人それぞ れの思いが形になった物でした。

他の餅に比べて倍くらいの大きさのお餅に「これじゃお供え餅 だよ!」とヒサヨさんが話しておりました。





みんなで歌をうたいましょう~

お昼ごはんまでの短い時間ではありましたが、皆さんで唱歌。 だんだん盛り上がる中、ご近所の小山さんが"もしもしかめよ" の替え歌『年をとるってどんなこと』を教えていただき皆さんで 歌いました。「自然と涙が出てくる」とチェコさん。今のご自身 の気持ちと重ね合わせ感動をされておりました。

お昼はワイワイ話の渦の中でゆっくりと味わい食後は皆さん 心地よい疲れの中でスヤスヤ寝息を立てる方、盛り上がった 歳忘れ会の余韻の中話の尽きない方、様々に過ごされる一日 でした。





